

ジム・アービン 元国際会長

ジム・アービン（米国ジョージア州オールバニー）は、1999年6月28日から7月2日にかけて米国カリフォルニア州サンディエゴで開催されたライオンズクラブ国際協会の第82回国際大会で選出され、同協会の会長を務めた。

1977年以来オールバニー・ライオンズクラブの会員であるアービン元会長は、クラブ会長、ゾーン・チェアマン、地区ガバナー、協議会議長など数多くの役職を歴任。1992年から1994年に国際理事を務めた。同元会長は2000～2001年度にライオンズクラブ国際財団理事長を務め、現在、視力ファースト諮問委員会のメンバーである。2019～2020年度に3年任期のLCIF理事として任命された。

また、ジョージア・ライオンズ・ライトハウス財団およびジョージア・ライオンズ盲人キャンプの元役員および理事でもある。

国際協会への貢献が認められ、エクステンション賞、ガイディング・ライオン賞、国際会長感謝状2回、国際会長賞16回、さらには協会より会員に与えられる最高の荣誉である親善大使賞を含む、数多くの賞を受賞。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンとしての活動以外にも、アービン元会長は複数のビジネスや専門職、また友愛団体のメンバーとしても活躍している。

シャロン・ディラード夫人とのあいだには4人の子供と5人の孫がいる。